

## 電通システム販売 Acronis Cyber Protect Cloudで 顧客のITシステム運用、 フルバックアップ、 ウィルス対策を実現

Acronis Cyber Protect Cloudはサイバーセキュリティ、データ保護、管理をネイティブに統合することで、コストを削減し、運用負荷を低減することができます。

### 事業の概要

電通システム販売株式会社（以下、電通システム販売）は、1984年設立の東京都新宿区に本社を置くITインフラサービス、オフィスファシリティサービスを中心に事業を展開する企業です。同社は企業向け電話システムの設計・設置・工事・保守から事業を開始、そこで培った技術力を活かして、LANシステム及び電源システムへ事業を拡充、企業のオフィスファシリティをトータルで、サービス提供ができる体制を整えてきました。情報及び音声はIP化され、電話システムもクラウドへと進化する中、それに対応するために、電通システム販売では2014年にはITインフラサービス事業をスタートさせ、現在ではファシリティサービスと合わせて、ワンストップでインフラソリューションを提供しています。

電通システム販売では、ITインフラサービス、オフィスファシリティサービスで、顧客の要望に応えることができる企業として成長を続け、これからも顧客から信頼されるパートナーになることを目指しています。

### ビジネス上の課題

電通システム販売では、2014年にITインフラサービス事業を担うシステムソリューション部の立ち上げにあたって、クラウドサービスを中心としたソリューション提案をビジネスの柱に据えました。客先常駐でのクラウドを中心としたシステム開発を通して蓄積された経験をもとに、2016年に内製化に踏み切り、顧客企業へのソリューション提案を開始しました。システムソリューション部が提供するクラウドサービスはIaaS関係が柱ですが、中小企業の顧客が多いこともあり、Microsoft 365、ウィルス対策製品、アクロニスのバックアップ製品を中心としたSaaSにも力を入れています。

システムソリューション部ではソリューションのラインナップにあたって、アクロニスのクラウドサービスが顧客企業に提案しやすいと判断、2016年アクロニスと代理店契約を行いました。アクロニスを選択した理由は、自社でストレージを用意するよりもアクロニスのマネージドストレージの方が安価であること。管理用サーバーが不要のため顧客へ提案しやすいこと。またテナントが多重構造になっているためリブランドや再販の管理が容易かつ可能な契約内容になっていることを評価したためでした。代理店契約締結後、電通システム販売ではアクロニス製品を自社ブランドとして顧客に



### 業種・業態

IT/ファシリティサービス業

### 主な課題

- 確実なイメージバックアップ取得
- リモートアクセスによるIT運用業務の実現

### 主な要件

- コスト低減と運用負荷の低減

### ITインフラ

- IAサーバー
- 約10台のクライアントPC

### 主なメリット

- 完全なイメージバックアップの取得
- 運用業務のリモート化によるサポートコスト削減
- ウィルス対策の統合による導入コストの削減

提案したところ、要件が合致した数社にバックアップシステムが採用されました。

2020年に従来からPCやサーバーを納入していた東京多摩地区にある社会福祉法人からPC・サーバーの運用管理業務の要望を頂きました。「新宿区にある当社からは片道2時間近くかかる立地のため、リモートアクセス環境を整備したうえで運用管理業務を提案することになりました。当初はお客様事業所内にルーターを設置し、VPN接続のうえリモートアクセスをおこなう前提でのご提案を考えておりましたが、ちょうどAcronis Cyber Protect Cloudがリリースされたところで、ルーター設置の方式と比較検討した結果、Cyber Protect Cloud を利用する方が安価でリモートアクセス環境を構築できることがわかり、Cyber Protect Cloud を提案することにしたのです」と電通システム販売 システムソリューション部 主任 高橋 旭氏は語っています。

## ソリューション

Acronis Cyber Protect Cloud はエンドポイント、システム、データを保護するためのサイバーセキュリティ、データ保護、管理をネイティブに統合したソリューションで、統合と自動化による保護機能を提供します。電通システム販売では、これらの機能を利用すれば、エージェントをサーバーへ導入するだけで、ルーターを追加せずにサーバーとPCをリモートからメンテナンスすることが可能になると判断し、社会福祉法人に提案を行いました。

それまでのバックアップシステムはお客様が独自に設定したものでしたが、専任担当者がおらず管理も煩雑で、きちんとした運用が行われていない状態でした。Acronis Cyber Protect Cloudへの切り替え提案は、料金体系がシンプルで、バックアップ容量も十分確保でき、大きな投資をせずに導入できることが評価されました。2020年9月に採用が決まり、まずはリモートアクセスによるメンテナンスとバックアップシステムの運用を開始しました。

その後、PCとサーバーに導入されていたウイルス対策ソフトの契約更新を行うタイミングに合わせて Acronis Cyber Protectのアンチマルウェア及びウイルス対策への切り替えを提案し、こちらも2020年12月から運用を開始しました。「Acronis Cyber Backup Cloudは他社のリモートアクセス専用のクラウドサービス、他社のウイルス対

策ソフトを組み合わせた場合に比べて、30%ほどコストを引き下げることが可能になりました。特に従業員100名以下の小規模企業では、Acronis Cyber Protect Cloudで、リモートアクセス、バックアップ、ウイルス対策を行った時のコストメリットは際立っています」と電通システム販売 システムソリューション部 部長 山口 大介氏は説明します。

## 効果と展望

現在、当該社会福祉法人様では、ファイルサーバー兼、会計/勤怠管理ソフトがIAサーバーで運用され、10台あまりの業務用PCとTV会議用PCが使われています。これらのサーバーとPCに対してAcronis Cyber Protect Cloudを導入することで、ネットワーク機器等の設定変更を行わずとも既存で使用している443 (https) ポートを利用してインターネットを介したクラウドへのバックアップと、電通システム販売による運用サービスが提供されています。

Acronis Cyber Protect Cloudでイメージバックアップが確実に取れるようになっただけでなく、PCやサーバーに問題が起きた時にはリモートでのメンテナンスが可能になり、従来であればオンサイト対応として発生していた費用を大きく削減することができました。「ウイルス対策にかかっていた費用も含めて、コスト削減が実現でき、お客様からは大変高く評価されています」（高橋氏）。

電通システム販売にとっても、障害発生時にリモートでメンテナンスができることは、顧客満足度の向上や業務負荷の軽減など大きなメリットがあります。

電通システム販売ではアクロニスのバックアップ製品を利用している顧客企業のウイルス対策ソフトの更新期限を見計らいながら、Acronis Cyber Protect Cloudを提案していくことを検討しています。さらに、Acronis Cyber Backup Cloudを扱っている2次代理店に対しても、リモートアクセスやウイルス対策だけでなく、様々な機能がサポートされているAcronis Cyber Protect Cloudで、顧客企業への提案によるアップセルが可能になるように積極的なプロモーションを行っています。これを通して、電通システム販売では情報システム担当がいなかったり、兼務だったりする中小規模に向けたクラウドサービスの営業展開をさらに強化していく考えです。

**「リモートアクセス、イメージバックアップ、ウイルス対策がひとつの製品で可能になり、コスト削減とシステムの確実な運用が可能になりました」**

電通システム販売株式会社  
システムソリューション部  
主任  
高橋 旭氏



**「Acronis Cyber Protect Cloudは従業員100名以下の企業向けに最適なソリューションなので、積極的に提案していきます」**



電通システム販売株式会社  
システムソリューション部  
部長  
山口 大介氏